

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

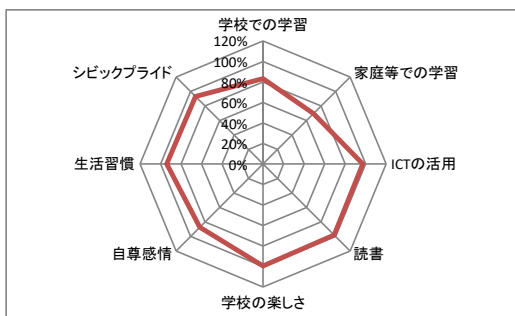
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語	全国平均正答率を下回った。「知識・技能」では全国平均正答率を上回る問題もあった。
算数	全国平均正答率を下回った。「知識・技能」では全国平均正答率を上回る問題もあった。

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



#### 質問紙調査の結果分析

○「読書」「ICTの活用」は全国平均値を上回っている。「読書」においては、朝の読書タイムの成果が出ていると考えられる。「ICTの活用」に関しては校内のICT推進チームを中心に職員研修を行い、学校全体でICTを活用した授業づくりに取り組んでいることが結果につながっている。

○「生活習慣」においては、全国平均値より低い傾向にある。規則正しい食生活や基本的な生活習慣の定着、生活時間の見直し・改善等の大切さや必要性について、保護者へ情報を発信するとともに協力をお願いする。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

・北九州市教育委員会が示している「学びの質を高める授業」づくり5つのポイントを主題研修に位置付けている。今後も特に「『考えを深める』話し合う活動と書く活動」を中心に、どの子にもわかりやすい授業づくりに取り組んでいく。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

・家庭等での学習に対する課題を受け、学習習慣の確立と家庭との連携を図っていく。基礎的・基本的学習内容の定着を図るとともに、課題に応じた学習を実施し、主体的に学ぶことができるようにする。